

今年は前売券(全席指定席制)のみ販売! / 当日券の販売はありません

Invited Works

石井裕也監督作 世界最速上映! ~オープニング

「道なきところに道をつくる」。近年の石井監督の活動に、ふと、そんな言葉が浮かんでくる。何故映画なのか。日本とは何か。硬派な問いを、エンターテインメントな映画という表現に置き換え、俳優、スタッフを輝かせる。本作は、アジアの俊英が集う国際プロジェクト「B2B(Back to Basics) A Love Supreme」に招かれ監督自身がプロデュース。10月に劇場公開を控えている。

世界初上映



🕒 9/12[土]
14:45~

『生きちゃった』

監督・脚本・プロデューサー: 石井裕也

2020年/91分 出演: 仲野太賀、大島優子、若葉竜也

魂を剥き出しにして、生きることを意味を問う91分

幼馴染の男女3人は、ある出来事をきっかけに、想像もなかった未来に飲み込まれていく。思いを伝えること、人を愛することは、なぜこんなに難しいのか? 石井裕也監督の最新作は、日本の過酷な現実を直視した衝撃作。 ※上映後、石井裕也監督&キャストによるトークを予定

©B2B, A LOVE SUPREME & COPYRIGHT @HEAVEN PICTURES ALL RIGHTS Reserved

ブラック&ブラック ~映画と音楽~

昨年からスタートしたこの企画は、ナビゲーターのピーター・バラカン氏が作品を選定。上映前に氏のトーク+大スクリーンで上映、というスタイル。今年は『ソウル・パワー』! 幻の「ザイル74」コンサートを生かした本作は、衝撃の日本公開から10年を迎えた。

ナビゲーター&トーク:
ピーター・バラカン

※上映前トークを予定



🕒 9/16[水]
18:30~

『ソウル・パワー』 Soul Power

監督: ジェフリー・レヴィ=ヒント

2008年/93分/35mmフィルム上映

出演: ジェームス・ブラウン、ビル・ウィザース、B.B. キング、ザ・スピナーズ

音楽が共通言語! “キンシャの奇跡”がここにも!

1974年、当時のザイルで行われたムハammad・アリの復帰試合に合わせた形の音楽祭の様を映像に収めたものの、35年も公開されないままになっていました。ようやく2010年に見られたその姿は当時の最先端のブラック・ミュージックを見事に記録していたことに改めて感激したものです。(ピーター・バラカン)

WOWOW連続ドラマWをスクリーンで

「たっぷり時間をかけ、じっくりと物語を語る。」その夢を実現させるWOWOWの連続ドラマW。

近年の傑作から、PFFに縁の深い2監督の作品をスクリーンで上映! 間に休憩を挟みつつも、全話一気上映のあとにはトークも行うという、充実すぎる映画祭ならではのプログラム。会場は新型コロナウイルス感染症対策で飲食禁止となりますので、腹ごしらえを十分にこ来場を!



🕒 9/20[日]
12:00~

『夢を与える』

監督: 犬童一心

2015年/約50分×4話 出演: 小松菜奈、菊地凛子、新田真剣佑、オダギリジョー

芸能界の光と影 18歳の少女が見た夢は。

幼い頃から美しく素直な夕子は、母の望む通りモデルとして成功を掴みかけた矢先、衝撃的な事件に巻き込まれる。脚本は『凶悪』の高橋泉、原作は綿矢りさの同名小説。菊地凛子と小松菜奈が見せる母娘の愛憎劇にも注目。 ※上映後、犬童一心監督のトークを予定

夢を与える ©2015 WOWOW INC.



🕒 9/22[火・祝]
13:00~

『悪党 ~加害者追跡調査~』

監督: 瀬々敬久

2019年/約50分×6話 出演: 東出昌大、松重 豊、新川優愛、板谷由夏

赦しか、復讐か一悲しみと怒りを抱え続ける人々の葛藤

出所した元加害者を追跡調査する探偵・修一は、少年時代に姉を殺され、犯人への復讐心を胸に生きてきた。被害者遺族による赦しとは何かを鋭く問う問題作。原作は社会派ミステリーで知られる薬丸岳の小説『悪党』。 ※上映後、瀬々敬久監督のトークを予定

悪党 ©2019 WOWOW INC.

ロイ・アンダーソン監督特集 ～素敵なにんげんたち～

昨年のヴェネチア国際映画祭で、銀獅子賞＝最優秀監督賞を受賞した傑作『ホモ・サピエンスの涙』が

11月に劇場公開決定の報に、おお!この機会に全作品紹介せねば!と

アジア初の「ロイ・アンダーソン・コンプリート特集」を実現。

27歳での鮮烈なデビューbut期待された2作目での挫折から25年、

CM界の巨匠となり自らの美学を詰め込んだスタジオを拠点に、唯一無二の映画を携え2000年に復活!

以降「リビング・トリロジー」と呼ばれる3部作で世界を震わせ、映画の夢を叶える勇気をくれる

スウェーデンの作家ロイ・アンダーソンをたっぷり楽しむこの特集。『ホモ・サピエンスの涙』の特別上映に加え、

CM作品や監督メッセージも準備中! 乞うご期待!

後援: スウェーデン大使館



©Studio 24

🕒 9/12[土]
13:00～
〈小ホール〉

🕒 9/23[水]
11:45～



『スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー』

A Swedish Love Story

1970年/119分
35mmフィルム上映

あどけない少年少女の恋を描いた、初長編監督作品!

郊外の祖父を訪れたパールは、アニカという美しい少女に出会い、恋をする。恋する2人をよそに、大人たちは複雑な事情を抱えていて…。純愛映画にして、霧の中に迷い込んでゆく不思議な物語。ラストシーンが印象的! ベルリン国際映画祭で4賞受賞。

日本初上映

🕒 9/17[木]
18:30～

🕒 9/23[水]
18:30～



『ギリアップ』 Giliap

1975年/137分
with English subtitle

港町のホテルを舞台に描く、哀愁漂うクライムムービー

ウェイターとして静かな港町のホテルに雇われたよそ者の男。気難しいオーナーや美しきアンナら個性豊かな人々と共に働き始めたが、同僚に話をもちかけられ、犯罪に手を染めることに…。日本未公開、異色の犯罪映画。カンヌ映画祭監督週間出品。

🕒 9/12[土]
16:30～
〈小ホール〉

🕒 9/24[木]
11:45～



『散歩する惑星』 Songs from the Second Floor

2000年/98分
35mmフィルム上映

後のスタイルを確立したリビング・トリロジー第1作

とある惑星に住む人々に降りかかる不条理な出来事。スタジオセットを作り、全て固定カメラで撮られたワンシーン・ワンカットが、まるで絵画のような雰囲気を生み出している。唯一無二の世界観で描かれる世紀末映画! カンヌ映画祭審査員特別賞受賞。

🕒 9/13[日]
12:30～
〈小ホール〉

🕒 9/24[木]
15:00～



『愛おしき隣人』 You, the Living

2007年/94分
35mmフィルム上映

架空の街を舞台としたユーモラスな人類観察映画

前作同様の手法で、北欧の街の人々の生活の断片を描く。対人関係も仕事も、誰も上手くはいかないけれど、それでも街には音楽が響き、バーは明日もある、はず…。ままたらない日常の愛しさと哀しさの詰まった作品。カンヌ映画祭ある視点部門出品。

🕒 9/15[火]
18:30～

🕒 9/26[土]
11:00～



『さよなら、人類』 A Pigeon Sat on a Branch Reflecting on Existence

2014年/101分

いつの時代でも愚かな人々への、壮大で奇妙な人間讃歌

おもしろグッズを売り歩く2人組のセールスマン。彼らの行く先々で出会う、時空間も現実も超えた、真面目でおかしい人々の人生と死の物語。ヴェネチア国際映画祭で金獅子賞を受賞した、壮大なトリロジーの完結作。

©Roy Andersson Filmproduktion AB

特別上映

🕒 9/13[日]
15:15～



『ホモ・サピエンスの涙』 About Endlessness

2019年/76分

ヴェネチア国際映画祭で銀獅子賞受賞の最新作

信じるものを失った牧師。戦禍に見舞われた街を上空から眺めるカップル。カフェの外で踊るティーンエージャーたち。不条理に満ちた世界で、一見、関連性のない挿話たちが、人生の絶望と希望を紡いでいく、万華鏡のような物語。

©Studio 24

日本初上映

🕒 9/18[金]
18:45～

🕒 9/23[水]
15:15～



短編プログラム Short Film Program

1967～1991年/113分
with English subtitle

貴重な学生時代を含む初期短編5本を日英字幕で上映

日常のスケッチのようなタッチの学生時代の作品から、エイズ予防の啓発映画『何かが起きた』、そして「リビング・トリロジー」のプレリュードと言われる『ワールド・オブ・グローリー』まで、文体の変遷を見るのも興味深い。

©Studio 24

PFF Award 2020

A

program



『パンク』44分

監督: 鈴木順也

パンクしているのは自転車か、俺かお前か、それとも…

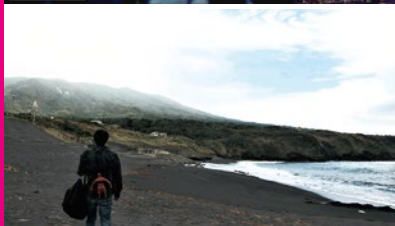
昨日も今日も自転車がパンクしている。誰の仕業が突き止めようとするトキオだが、ネット上のやりとり、駐輪場の女、自転車屋のオヤジ、全てが疑わしく思えてくる…。トキオに見えている世界に引き込まれ、圧倒される!

🕒 9/12[土]

11:00~

🕒 9/18[金]

15:15~



『霞姫霊異記』57分

監督: 高階 匠

不思議な伝説と住民たちが誘う、オフビートな冒険物語

旅行で訪れた島で恋人が土偶になってしまった! 再び島に戻った小林は、島の人々とともに祟りを解くため奔走する。島の人々の付き合いや会話の隅々に不思議な魅力が詰まった作品。小林は祟りを解くことができるのか?

[コンペティション部門]

第42回PFF

検索

PFF Award 2020

自ら映画を生み出す決意と熱意と才能を紹介する自主映画のコンペティション「PFFアワード」。
 本年は480本の応募作品から17本を選入作品として紹介し、2回のスクリーン上映を実施。
 会場に監督を迎え、上映後、客席との対話をとし、映画は更に広い世界へと飛翔する。
 遠方の方は、オンライン上映へ! 観客賞投票は、会場のみで実施します。

〈PFFアワード2020各賞〉

グランプリ (副賞100万円)

準グランプリ (副賞20万円)

審査員特別賞 (副賞10万円/3作品)

エンタテインメント賞 (ホリプロ賞)

映画ファン賞 (ぴあニスト賞)

観客賞

※上映後、来場監督を迎えてのトークを予定

9/26[土] グランプリ、準グランプリ受賞作品上映あり!

PFF Award 2020

B

program



『タヌキ計画』41分

監督: チェ・ユシン

在日外国人とともに暮らす、現代日本へ問いかける寓話

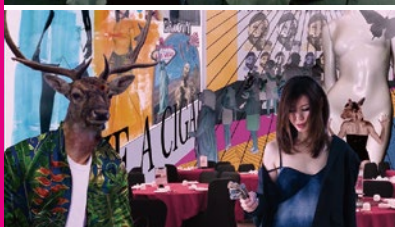
日本人に「化ける」ための違法薬物「タヌキ」。ベトナムから出稼ぎに来たタンヤもこの薬で日本人として生活し始めるが、次第に母国の記憶を失っていく…。在日外国人の生きづらい現実をおとぎ話として描いた異色作。

🕒 9/12[土]

18:30~

🕒 9/17[木]

11:00~



『LUGINSKY』63分

監督: haiena

「変なものが見える」主人公の視界をコラージュで描く

ある日、幻覚が見えるようになった。そんな彼が幻視に導かれるように密造酒や奇妙な人々に出会い、不条理な世界へ吸い込まれていく。独特の語りとコラージュを用いた映像表現で、観客は唯一無二の世界へと迷い込む!

PFF Award 2020

C

program



『もとめたせい』30分

監督: 矢部 凜

「変態」から始まる屈折したガール・ミーツ・ボーイ

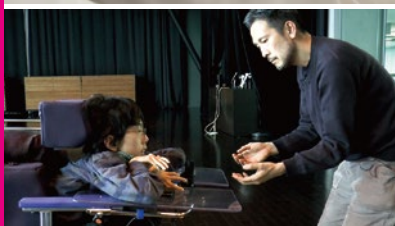
同級生の男子、馬場からある日突然「ブラジャーを貸して欲しい」と相談された女子高生の相川。誰にも言えない秘密の相談に協力する中で、ふたりは仲を深めていくが…。他人の性に興味津々な新しいヒロイン像に注目!

🕒 9/13[日]

11:00~

🕒 9/17[木]

14:30~



『へんしんっ!』93分

監督: 石田智哉

車椅子とカメラ、人と人の関わりが拡張する、表現の可能性

車椅子に乗った監督が、しょうがい者の表現活動の可能性を探ったドキュメンタリー。映画製作を通じて様々な人と関わりあう中で、多様な“違い”を発見してゆく。周囲の人を巻き込む、彼の映画の作り方にも注目。

PFF Award 2020

D
program

『追憶と槌』8分

監督: 金井啓太

独創的な表現でみせる、雪の中に埋まった町への思い

岩手県の「錦秋湖」はかつてダム建設で水没した湯田町という町だった。写真を用いて語られる土地の歴史と、かつての町をおおう雪。二度と戻ってこない町との距離を表現したパフォーマンスが目に焼きついて離れない!

🕒 9/13[日]
18:00~🕒 9/18[金]
11:00~

『頭痛が痛い』131分

監督: 守田悠人

現代の死にたい少女たちの切実な叫びが聞こえてくる一

優等生のいくと不登校の鳴海。一見、相入れないふたりが「死にたい」という苦しみを共有し距離を縮めていく…。配信やSNSといった時代がもたらす問題を捉えつつ、生きづらい少女たちの声に真摯に向き合った作品。

PFF Award 2020

E
program

『遠上恵未(24)』26分

監督: 遠上恵未

「あと10日で25歳になる」自分を写したい焦りと衝動!

女優が自身の代表作とすべく自らカメラを回す! 24歳からアラサーになることへの焦り。今の自分をカメラに収めなければと、自分にしか撮れない姿を求め、さらけ出してゆく。だが、自分が撮りたい「遠上恵未」とは…?

🕒 9/15[火]
11:00~🕒 9/20[日]
18:00~

『屋根裏の巳巳己』102分

監督: 寺西 涼

記憶が現実か? 生と死のはざまをさまよう怪奇な物語

同棲中のアパートから逃げようとして実家に帰ったショウは、繰り返し夢に現れていた中学時代の幼なじみ、ミーコと再会する。だが、どこかおかしい…。不安をおおる独特のカメラとスピード感あふれる編集に魅せられる!

PFF Award 2020

F
program

『フィン』36分

監督: 小池 茅

日常のような特別なような。25才、ポエジーな誕生日!

京都に滞在中に女の子に声をかけられたフィン。同級生だと言うがよく思い出せないまま、年上の友人と3人で自分の誕生日会をすることに。彼女は誰? ユーモアあるセリフ一つ一つが楽しく、独特のリズムが心地よい!

🕒 9/15[火]
15:00~🕒 9/19[土]
18:30~

『MOTHERS』63分

監督: 関 麻衣子

カメラを介して向き合う、父そして“3人の母親”との関係

不安定な父と暮らす監督自身が、姉とともに3人の母親に改めて向き合ったドキュメンタリー。家族という逃れられない呪縛。この映画をきっかけに、苦しみに直面しながら揺さぶられる家族の関係を、観客は目撃する!

PFF Award 2020

G
program

『Fear of missing out』36分

監督: 河内 彰

亡くなった人の存在は、どう確かめられるのだろうか

亡くなった友人の音声を発見したコジンは、彼女に想いを馳せながら、車を走らす。「ここにいる人」の記憶や言葉によって、「ここにはいない人」の存在が夜の闇の中に描き出される。静かな余韻を残す一晩の出来事。

🕒 9/16[水]
15:00~🕒 9/19[土]
11:00~

『冬のほつれまで』67分

監督: 多持大輔

自分だけの時間を生きる、そんな少女もいてもいい

朝の教室、昼の売店、放課後の喫茶店。誰とも会話をせず、スケッチブック片手に、ひとりの時間を過ごす女子高生。頑ななような、自由な猫のような少女を、独特な視線で丁寧に描いた作品。きっと彼女に魅了されるはず。



『こちら放送室よりトム少佐へ』 10分 監督: 千阪拓也

直接会うことのない、テープ/宇宙の向こうのあなたへ

1989年。高校の放送部の星は一人でラジオドラマを作っている。ある日カセットテープに知らない少女の音が…。孤独な生徒たちと、宇宙飛行士と管制塔。見えない相手と心を通わす2つの物語が16mmフィルムの上で重なり合う。



『アスタースクールデイズ』 38分

監督: 稲田百音

現役高校生による、悩みも喜びもリアルな学園群像劇!

地味な転校生と遠足係になった4人。花と花言葉を贈ってくる彼を最初は気味悪がっていた生徒たちだが、彼の言葉に後押しされて、自分に正直に向き合うように…。個性あふれる生徒たちが魅力的な、心温まる青春と友情!



『未亡人』 54分

監督: 野村陽介

「未だ亡くならない人」ならば、どう生きていく?

芸術家としての志のために、これまで恋愛を捨てて童貞を貫いてきた、美大生の野村。自己愛と他人からの評価のはざま、友人や家族との関係、芸術や宗教観のなかで苦悩する主人公の姿を、俳優である監督自ら熱演!

🕒 9/16[水]
11:00~🕒 9/19[土]
14:30~PFF Scholarship Film
第25回 PFFスカラシップ作品 完成披露上映

PFFアワード受賞者のオリジナル企画を、スタートから観客に届けるまで、PFFがトータルプロデュースする

長編映画製作プロジェクトの最新作をお披露目。このプロジェクトは自主映画監督の長編デビューが困難だった1984年に生まれ、25作品目となる本年は「PFFアワード2016」グランプリ受賞『食卓』の小松孝監督による家族の物語。完成間近! 乞うご期待!

🕒 9/24[木]
18:30~

『猫と塩、または砂糖』

監督: 小松 孝

2020年/120分予定 出演: 田村健太郎、宮崎美子、吉田凜音、池田成志、諏訪太郎

シニカルなユーモアで描かれる、家族の幸せ

社会を拒絶し母のペット「猫」になった長男、憤ましい母、アル中&糖尿病の父の3人で暮らす、佐藤家。母と元彼の再会をきっかけに、その娘も巻き込み、ひとつ屋根の下、5人の奇妙な同居生活が始まる…。 ※上映前、小松孝監督とキャストによる舞台挨拶を予定

©PFFパートナーズ=びあ、ホリプロ、日活/一般社団法人 PFF



定額制インディーズ映画配信サイト「DOKUSO映画館」にて、PFFアワード歴代入選作品も配信中!

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入館にあたってのお願い

以下に該当する方はご来館をお控えください。

- ・37.5度以上の発熱がある方。
- ・咳、のどの痛み、くしゃみ、鼻水などの風邪の症状がある方。
- ・体調がすぐれない方。
- ・過去14日以内に発熱や風邪の症状等で受診や服薬等をした方。
- ・過去14日以内に感染拡大している地域や国への渡航歴がある方。

予防対策による、上映環境の変化

- ・定員数を約1/3に制限し、開催します。一部オンラインプログラムも実施しますので、あわせてお楽しみください。
- ・上映のインターバルを約1時間確保し、消毒・換気を行います。
- ・スタッフはマスク・手袋を着用し、接触機会を極力減らし、運営します。

館内ではマスク着用と咳エチケットにご協力ください



入館時に、非接触型体温計による検温にご協力ください



こまめな手洗い、館内に設置した消毒液での手指消毒にご協力ください



大声での会話はできるだけ控えさせていただきます



他の方と1メートル以上を目安に十分な距離を保ってください



館内での飲食はご遠慮ください(キャップ付きの飲み物は除く)



混雑時には入場制限を行いますのでご協力ください



感染発生時の入館者追跡のため、ご自身で入館日時を記録をお願いします



37.5度以上の方は、入館をお断りいたしますのでご了承ください。

Time Table

G …ゲスト来場予定

国立映画アーカイブ 開館時間 10:30(9/12~13, 15~19, 26) 11:00(9/20, 22~25)

*開場時間は、上映時間の15分前です。日ごとに上映開始時間が違いますので、ご注意ください。

*やむを得ない事情により、プログラムおよび来場ゲストが予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

9.12 [土]	OZU	11:00～ PFFアワード2020 ① 『パンク』 『霞姫霊異記』	14:45～ オープニング 『生きちゃった』 ※上映後、石井裕也監督&キャストによるトーク予定	18:30～ PFFアワード2020 ② 『タヌキ計画』 『LUGINSKY』
	小ホール		13:00～ ロイ・アンダーソン監督特集 『スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー』	16:30～ ロイ・アンダーソン監督特集 『散歩する惑星』
13 [日]	OZU	11:00～ PFFアワード2020 ③ 『ももたせいで』 『へんしんっ!』	15:15～ ロイ・アンダーソン監督特集 『ホモ・サビエンスの涙』 特別上映	18:00～ PFFアワード2020 ④ 『追憶と槌』 『頭痛が痛い』
	小ホール	12:30～ ロイ・アンダーソン監督特集 『愛おしき隣人』	最新情報は、公式サイトをチェック! https://pff.jp/42nd/	
14[月]		休館日		
15 [火]		11:00～ PFFアワード2020 ⑤ 『遠上恵未(24)』 『屋根裏の巳巳己』	15:00～ PFFアワード2020 ⑥ 『フィン』 『MOTHERS』	18:30～ ロイ・アンダーソン監督特集 『さよなら、人類』
16 [水]		11:00～ PFFアワード2020 ⑧ 『こちら放送室よりトム少佐へ』 『アスタースクールデイズ』 『未亡人』	15:00～ PFFアワード2020 ⑦ 『Fear of missing out』 『冬のほつれまで』	18:30～ ブラック&ブラック ～映画と音楽～ 『ソウル・パワー』 ※上映前、ピーター・バラカン氏のトーク予定
17 [木]	長瀬記念ホール OZU	11:00～ PFFアワード2020 ② 『タヌキ計画』 『LUGINSKY』	14:30～ PFFアワード2020 ③ 『ももたせいで』 『へんしんっ!』	18:30～ ロイ・アンダーソン監督特集 『ギリアップ』 日本初上映
18 [金]		11:00～ PFFアワード2020 ④ 『追憶と槌』 『頭痛が痛い』	15:15～ PFFアワード2020 ① 『パンク』 『霞姫霊異記』	18:45～ ロイ・アンダーソン監督特集 短編プログラム 日本初上映
19 [土]		11:00～ PFFアワード2020 ⑦ 『Fear of missing out』 『冬のほつれまで』	14:30～ PFFアワード2020 ⑧ 『こちら放送室よりトム少佐へ』 『アスタースクールデイズ』 『未亡人』	18:30～ PFFアワード2020 ⑥ 『フィン』 『MOTHERS』
20 [日]		12:00～ WOWOW連続ドラマWをスクリーンで 『夢を与える』 約50分×4話 (2話上映後、約15分の途中休憩あり) ※上映後、犬童一心監督のトーク予定	18:00～ PFFアワード2020 ⑤ 『遠上恵未(24)』 『屋根裏の巳巳己』	
21[月・祝]		休館日		
22 [火・祝]			13:00～ WOWOW連続ドラマWをスクリーンで 『悪党 ～加害者追跡調査～』 約50分×6話 (3話上映後、約20分の途中休憩あり) ※上映後、瀬々敬久監督のトーク予定	
23 [水]	長瀬記念ホール OZU	11:45～ ロイ・アンダーソン監督特集 『スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー』	15:15～ ロイ・アンダーソン監督特集 短編プログラム 日本初上映	18:30～ ロイ・アンダーソン監督特集 『ギリアップ』 日本初上映
24 [木]		11:45～ ロイ・アンダーソン監督特集 『散歩する惑星』	15:00～ ロイ・アンダーソン監督特集 『愛おしき隣人』	18:30～ 第25回 PFFスカラシップ作品 完成披露上映 『猫と塩、または砂糖』 ※上映前、小松孝監督とキャストによる舞台挨拶予定
25 [金]		PFFアワード2020表彰式 ※チケットの発売はありません。		
26 [土]		11:00～ ロイ・アンダーソン監督特集 『さよなら、人類』	14:00～ PFFアワード2020 準グランプリ受賞作品上映	17:30～ PFFアワード2020 グランプリ受賞作品上映

Ticket

チケットは上映前日(～23:59)までにご購入ください。
当日券の販売はありません。

《全席指定席》【定員】長瀬記念ホール OZU:109名/小ホール:56名

新型コロナウイルス感染症予防のため、座席の
前後左右を空け、定員数を約1/3に制限します。

		一般/シニア	高大生	小中生/障害者 キャンパスメンバーズ
基本料金	PFFアワード2020	¥1,000	¥900	¥800
	ロイ・アンダーソン監督特集 ※「ホモ・サビエンスの涙」を除く			
特別料金	オープニング『生きちゃった』	¥2,000	¥1,600	¥1,500
	ブラック&ブラック『ソウル・パワー』			
	WOWOW連続ドラマWをスクリーンで			
	ロイ・アンダーソン監督特集『ホモ・サビエンスの涙』			
	PFFスカラシップ『猫と塩、または砂糖』			

※入場時に、映画祭カタログを無料でプレゼントします!

※学生、国立アーカイブのキャンパスメンバーズ、障害者の方は、ホール入場時に証明できるものをご提示ください。(障害者の介添者は原則1名まで障害者と同料金)

※車椅子でのご鑑賞スペースには限りがありますので、事前にお問い合わせください。

【PFF事務局:03-5774-5296(平日11時～18時)】

【チケット購入方法】

販売期間:

8/15(土)10:00～
上映前日23:59までの販売。

販売場所:

チケットぴあ 0570-02-9999
[Pコード:551-184]



インターネット購入	ぴあのお店	セブンイレブン	電話購入
選択 できる※	選択 できる	選択 できない	選択 できない

※インターネット購入時は、8/15(土)の発売開始から
1時間は座席の選択ができません。

- ・ 発券手数料、システム手数料は、一切掛かりません。
- ・ チケットの払い戻し、交換、再発行はいたしません。
- ・ チケットは会場では発券できません。必ず発券して会場までお越しください。

【会場】



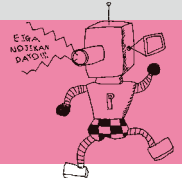
国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan
東京都中央区京橋3-7-6

会場アクセス▶銀座線「京橋駅」1番出口より昭和通り方向へ徒歩1分▶
浅草線「宝町駅」A4出口より中央通り方向へ徒歩1分▶有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩5分▶JR「東京駅」八重洲南口より徒歩10分



一部オンラインプログラムも実施!

詳細は公式サイトで9月上旬に発表予定



【主催】



一般社団法人PFF



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan



公益財団法人
川喜多記念映画文化財団

UNI JAPAN
公益財団法人ユニジャパン

【オフィシャルパートナー】



ホリプロ

dentsu



Hakuhodo DY
media partners

【特別支援】



一般社団法人
日本映画製作者連盟

【オフィシャルTOPサポーター】



NIKKATSU



三菱地所

【オフィシャルサポーター】



スカパー!



セブン&アイ HLDGS.

【特別協賛】

朝日新聞



IXF

IIJ Internet Initiative Japan



Tokyo FM

FMBQ2

meet the music on the radio

KLOCK WORKX



KDDI



JCB



STAR B510



SEGA Sammy



東京テアトル



TOKYO MX



DOKUSO



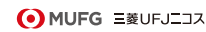
TOPPAN



transcosmos



SMBC 三井住友カード



MUFG 三菱UFJニコス

【協賛】



UL Systems, Inc.



CONCENT



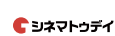
佐藤工業



SUNDAY FOLK PROMOTION



stream



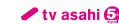
シネマトゥディ



SPACE SHOWER



DISK GARAGE



tv asahi



TV TOKYO



KOGEI



TOHAN



ニッポン放送



BANDAI NAMCO



フジテレビジョン



文化放送



PONYCANYON INC.



MOVIE WALKER



夜景・桜



W.O.W.O.W

【賛助】

アテネ・フランセ文化事業(株)/(株)伊藤園/(株)IMAGICA Lab./エイベックス・ビクターズ(株)/ギャガ(株)/キングレコード(株)/クエストルーム(株)/(有)スタンス・カンパニー/チケットぴあ九州(株)/チケットぴあ名古屋(株)/(株)夏への扉/(株)PIVOT/フィルミネーション(株)/(有)プレス/(株)みずほ銀行/(株)ロボット

【後援】

NPO法人映像産業振興機構(VIPO)/協同組合日本映画監督協会